



名誉教授 河原淳夫先生の  
ご冥福をお祈りします

一月十六日午前九時、突然の訃報。昨年夏の教官OB会には愛用のバイクで参加しておられたのにと、しばらくは信じてことができず、あらためて自宅に電話をしてしまいました。

先生は三十六年の長きにわたって広島大学に勤務され、ご退官後を加えると実に半世紀近くわが国の技術科に関する教育・研究にたずさわってこられました。

また、広島大学評議員、教務委員長等数々の要職を歴任され、大学・学部管理運営にも貢献されました。

技術科教育の専門分野においては、新設されたばかりの中学校技術・家庭科の基本理念を加工教育の見地から提唱され、具体的な指導内容、指導方法を伴った先生の理論は、その後の技術科教育関係者にとって大きな指針となっております。

学会活動では、日本産業技術教育学会副会長、中国支部長などを務められ、学会の運営と発展に多大の貢献をされ、その功績により功労賞も受けておられます。

学生時代には大変厳しく、こわかった先生。どんな質問でも明解に答えておられた先生。どんな場面にあっても自信に満ち合理的な方針を示された先生。技術教育発展のために献身的に努力してくださった先生。

厳しさの中に優しさがあり、優しさの中に合理性のあった先生のご指導は、時の経過とともにその奥の深さが理解され、さらなるご指導をお願いし訪ねてくる卒業生は絶えることがありませんでした。

今、永久のお別れをすることは耐え難いことでありますが、ご指導を受けたことを心から感謝し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

学校教育学部生活科学教育講座

間田泰弘(まだ・やすひろ)



江口鎮子先生のご逝去を悼む

江口鎮子助手は、一月二十四日深夜永眠されました。昨年の夏に機器分析センターから理学部に移られたばかりで、これから本格的に仕事にかかると張り切っておられた矢先だけに、先生の研究と教育が志半ばにして絶たれたことのご無念は、察するにあまりありません。

先生は、昭和三十六年富山大学理学部を卒業され、その後アジア石油株式会社および湘南白百合学園勤務を経て、昭和四十五年八月に広島大学理学部化学科に教務職員として着任されました。以後二十四年間にわたって理学部および機器分析センターにおいて教育研究に多大の貢献をされました。この間、昭和五十四年には「含酸素複素環化合物の逆ディールス・アルダー開裂における水素転位」の論文で理学博士の学位を受けられました。

江口先生は、質量分析に関するご研究で卓越した業績をあげられ、中でも天然物有機化合物の質量スペクトルに関する研究では、非常に高い評価をうけております。学部や大学を超えた共同研究が多いのは、それだけ先生の緻密な技術によるスペクトル測定が信頼されていたからにはかなりません。

先生には、研究の面だけでなく学生の実験指導を熱心に行っていたきました。先生の指導はとても厳しいことで定評がありました。それが、それでいてとても優しい先生でした。先生だけでなく同僚の教官たちも教えられることが多々あり、誰もが心から先生を慕っておりました。

昨年の暮れに西条キャンパスで先生にお会いしたのが最後となりましたが、病と戦っておられたそのときも、決してつらそうな素振りをなさらず、終始笑顔で話をされました。暖かい春が来るのを誰よりも待っておられた先生でしたが、その春の訪れより先に先生は逝かれました。

ご冥福を心からお祈り申し上げます。

理学部物理化学講座 齊藤 昊(さいとう・こう)